



三角縁二神二獣鏡

海津市 円満寺山古墳出土 古墳時代前期
岐阜県博物館蔵

中国の神話に登場する西王母と東王父の二神に、龍と虎の二獣が表されています。

円満寺山古墳は、4世紀半ばから後半にかけての時期に、濃尾平野を一望できる丘陵の上に造られた前方後円墳です。川原石を積んで築かれた竪穴式石室からは、写真の三角縁神獣鏡を含む銅鏡3面と鉄鏃や刀等の副葬品が出土しました。西濃地方の古墳時代前期を代表する古墳の一つです。

(企画展「タイムスリップ！大むかしのくらし」で展示)

***** 館蔵資料紹介 *****

岐阜小学校文書

近代(明治～昭和) 345件

岐阜小学校は、金華小学校と京町小学校が統合して、平成20年(2008)に開校しました。本史料群は、金華小学校に伝わったもので、総件数は345件です。

金華小学校は、明治6年(1873)に設立された大観舎から、その歴史がはじまります。翌年には、男子の金華学校と女子の伊奈波学校に別れました。同11年には岐阜学校、同19年には岐阜尋常小学校となります。同43年には富茂登尋常小学校と合併し、その後、大正12年(1923)に岐阜尋常高等小学校、同14年に金華尋常高等小学校と改称されました。昭和16年(1941)には金華国民学校、戦後の同22年に金華小学校と改めました。

本史料群は、岐阜尋常小学校の時代から金華小学校の時代にかけての史料です。明治24年以降の史料が中心となっていますが、これは同年の濃尾震災により、校舎が焼失したことに由来すると考えられます。多くは簿冊が占め、「学校日誌」・「卒業児童名簿」・「経費支出稟議書」・「職員出勤簿」・「備品台帳」・「学籍簿」などから成ります。近代初期から戦後の史料まで含まれており、近代の学校経営の様子がよくわかる好史料群です。



「卒業児童名簿」(明治25～41年) 縦26.7cm 横18.6cm
「日誌」(大正9年) 縦22.8cm 横15.4cm
「学校日誌」(昭和14年) 縦25.3cm 横17.2cm

利用の御案内

- **開館時間** 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- **休館日** 毎週月曜日と祝日の翌日
(月曜日が祝日の場合はその翌日)
年末年始(12月28日～1月3日)
※特別展・企画展開催中は変更することがありますので、ご注意ください。
- **観覧料** (団体は20人以上)
歴史博物館総合展示、加藤栄三・東一記念美術館
高校生以上 300円(団体240円)
小中学生 150円(団体90円)
両館共通で観覧される場合
高校生以上 510円(団体410円)
小中学生 250円(団体150円)
- ③家庭の日(毎月第3日曜日)に入館する中学生以下の方
- ④家庭の日(毎月第3日曜日)に入館する中学生以下の方に同伴する家族(高校生以上)の方(特別展を除きます)
- ⑤岐阜市内の小中学生の方(特別展を除きます)
企画展は、総合展示料金でご覧いただけます。
特別展は、その都度料金を定めます。

- ◎下記の方は無料で観覧いただけますので、①②の方は証明できるものをご提示ください。
①岐阜市内在住の70歳以上の方
②身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方とその介護者1人

博物館だより No.92 2016. 4
編集・発行 岐阜市歴史博物館
〒500-8003 岐阜市大宮町2-18-1 ☎058(265)0010
(分館) 加藤栄三・東一記念美術館
〒500-8003 岐阜市大宮町1-46 ☎058(264)6410